

オバマ：戦争犯罪人、女性や子供の虐殺者

【訳者注】オバマが 8 年間にやったことの実態を隠すことはできない。この事実を知っていて、あの離任演説をテレビで見た人の大多数は、最後に加えた読者のコメントに賛同するであろう。しかもオバマ鳥は最後の最後で、水を汚物で、けがせるだけ汚して、飛び立つようである。

Paul Craig Roberts

January 11, 2017, Information Clearing House



「我々はドローン攻撃で市民を殺すことができるか？」

「YES WE CAN」

米大統領バラク・オバマが、彼の軍および情報部高官や、上下院のほとんどの者たちと同じく、戦争犯罪人であることは間違いない。

オバマは、その 8 年間の全政権期間を通じて、アメリカを戦争状態に保った最初の大統領である。2016 年だけでも、アメリカは 26,171 箇の爆弾を、7つの国の、結婚式のパーティ、葬式、サッカー中の子供、病院、学校、家や通りにいる人々、畑仕事をしている人々の上に落とした——イラク、シリア、アフガニスタン、リビア、イエメン、ソマリア、およびパキスタン。 <http://blogs.cfr.org/zenko/2017/01/05/bombs-dropped-in-2016/>

8年におよぶ7か国での不法な軍事介入に対して、この政権は、どのような申し開きができるだろうか？ そのうちのどの一か国として、アメリカに危険を及ぼしたわけではなく、どの一か国にもアメリカは宣戦布告をしていない。テロリズムはアメリカの侵略の創り出したものであり、どの戦争も勝ったことはなく、中東は混乱と破壊の中に消滅した。アメリカ合衆国への世界的な憎しみが、歴史上の最高記録をつくった。アメリカは、今、地球上で最も軽蔑されている国家である。

これらの犯罪行為の唯一の目的は、軍需産業を富ませ、アメリカの世界制覇という狂ったネオコン・イデオロギーを推進することである。ほんの一握りの軽蔑すべき輩が、アメリカ合衆国の評判を地に落とし、何百万という人々を殺し、大量の戦争亡命者をアメリカとヨーロッパに送った。

我々はこれを“戦争”と言っているが、そうではない。それらはすべて侵略であり、多くは空中からの、しかしアフガニスタンとイラクでは、地上軍による侵略である。空からと地上からのこれらの侵略は、全面的に、露骨な、見え見えのウソに基づいている。その侵略の“理由付け”は、何回となく変わっている。

問題は——トランプがもし大統領になっても、ワシントンの、この巨大な人類に対する犯罪は続くのだろうか？ もしそうだとしたら、世界の残りの国々は、ワシントンの途方もない悪を許容し続けるつもりだろうか？

読者のコメントより——オバマが、家族を利用して印象をよくしようと、一緒にテレビに出て、国民に対する最後の挨拶をしながら、現実に涙を流す光景は、見ていて反感を催させるものだった。いったい何百万の——そうだ、何百万の——家族が、リーダーを名乗ったこの嫌悪すべき男によって殺されただろうか？ 世界には、国連の数字によれば、アメリカの突然の攻撃から逃れ、安心できる場所を求めて地球上をうろついている、約 6,000 万の人々がいる。世界の至るところで、ご主人さまに気に入ろうとする、この男の政策のために、母親たちが身もだえして泣いている。「アंकル・トム」（白人に媚びる黒人）という呼称は、この暗殺常習者にとってはやさしすぎる。彼は 5 か国を破滅させただけでなく、アメリカにおいて変化を求めようとする人々の、能力をも破壊してしまった。変化を、彼は約束し、そして裏切った。ウッディ・アレンが、その驚嘆すべき映画“**Whatever Works**”で指摘したように、どんな宣伝をしたとしても、この大統領を名乗った男が、日没後、ニューヨークでタクシーに乗ることはできないだろう。・・・